



政治決戦  
1月15日

# 長柄のみなさん

## こんどはこぞって、議会で役立つ ベテランの地元代表を

長柄のみなさん  
いよいよ葉山町にとっての政治戦の日が近づいています。

私を育てた葉山の豊かなみどり  
私は、地元長柄で幼いころから育ち、ここから高校・大学も通いました。海と山に囲まれ豊かな自然に恵まれた葉山町を愛することは誰にも負けません。

学生時代、戦争反対の思いで日本共産党に参加しましたが、町政に当たっては、一党一派に偏することなく、町民党の立場でがんばってきました。

困った方が笑顔に変わる喜び

地元代表としてこの4年間でも、在職中は地元要求の実現に努力してきました。また、倒産した地元会社の従業員の生活保障問題の解決にも取り組みました。他にも様々な生活困窮された方の相談にのり解決にあっただけではありません。しかし、昨年4月の惜敗以来、「せっかくなか実現したのだから、川久保経由バスの発着本数を朝夕増やして欲しい」、「歩道橋の防風板の破損を修理してください」、「ガードレールの損傷を直ちに直して欲しい」、「逗葉新道の無料化を」など、地元のみなさんの要求が寄せられたにもかかわらず、議会を外からしか傍聴できず歯ぎしりする思いが募っています。

ボランティアの経験をいかしたい

さらに震災のボランティアに3回通い、日本人の絆を強く感じ、いざというときに地域コミュニティの中心となる議員の役割をつぶさに見て、自分のバッチを失ったことがいかに大きなことだったか痛いほど感じています。

町民が心ひとつにまちづくりを

現在、葉山町では、長柄まで遡ってくると言われる葉山を襲う10mを超える津波対策や子どもたちを放射能被害から守ること、県内最高水準といわれる高齢化の対策、さらにゴミ処理の解決策など問題が山積しています。残念ながら、議会では不毛な対決も見受けられます。

今こそ8期32年の経験を生かし、本当の町の繁栄のため、子ども達の未来のため総仕上げの働きをさせてください。自分の全身全霊をささげるつもりです。

もう一度、地元の前町議を町政の場で働かせてください。みなさんのご期待に必ずこたえます。

●日本共産党の見解を紹介します。みなさんのご意見やご要望をお寄せください。

葉山町長柄799  
電話 801-1575  
2012年1月号外



川久保バス停ができて、大変不便。  
「必ずバス増便をしてほしい」



ガードレールが破損状態  
「早急に修繕してほしい」



南郷歩道橋の防風板が破損  
「長い間放置され、町民として恥ずかしい」



地域からの寄せられた要求の解決に全力をあげます。